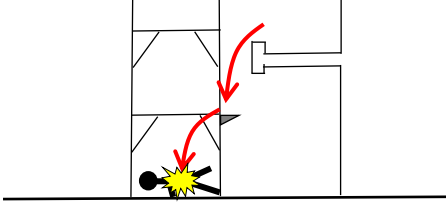
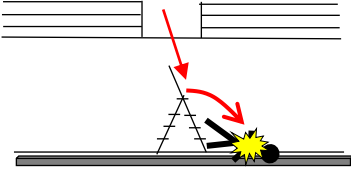
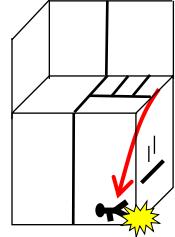
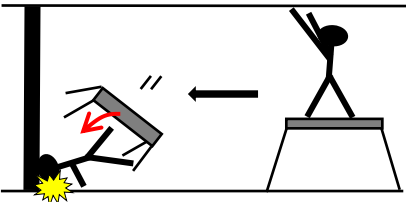
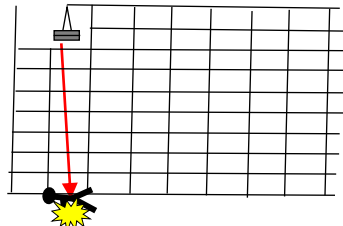
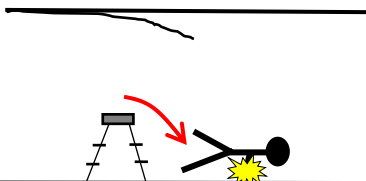


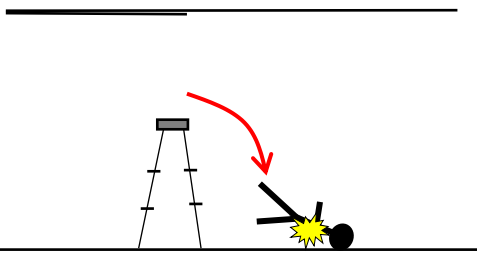
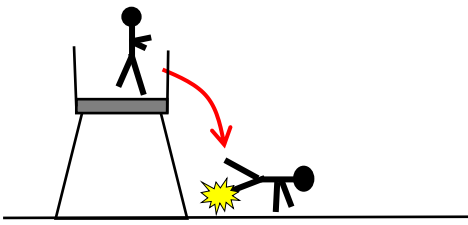
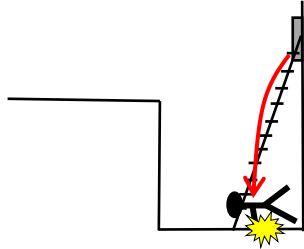
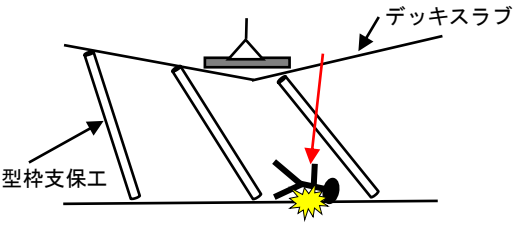
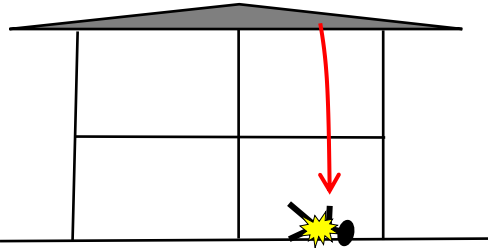
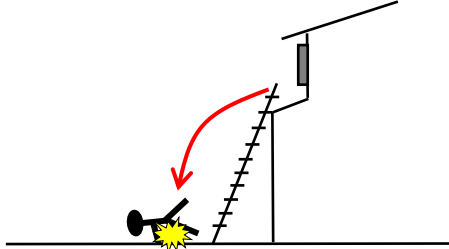
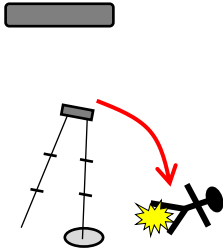
令和2年 建設業3大災害事例

～ 墜落・転落 転倒 飛来・落下 ～


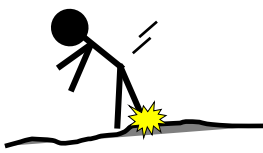
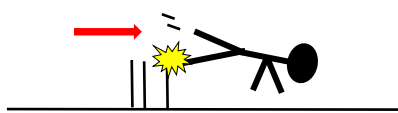
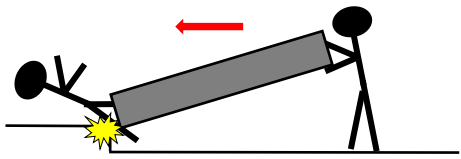

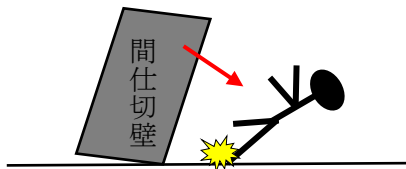
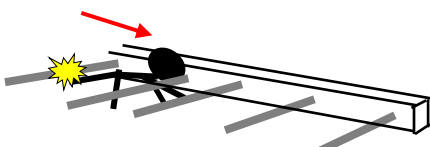
新宿労働基準監督署管内

墜落・転落災害事例（40%）

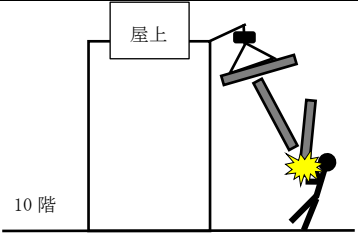
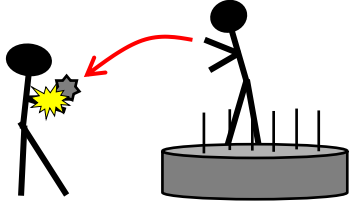
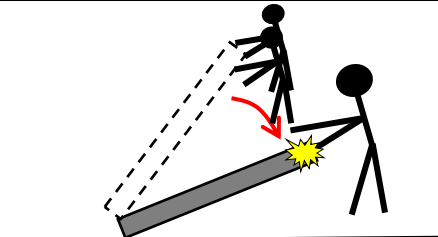
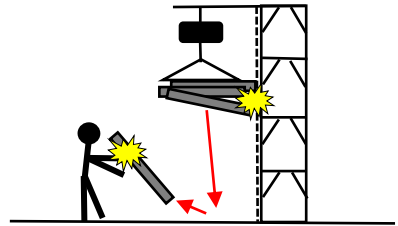
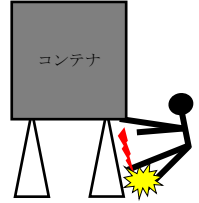
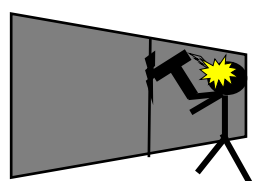
番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	災害発生状況のイメージ
1	50歳代	電気工	6ヶ月	新築工事現場において、被災者は電気工事のため入場したところ、2階バルコニーと足場の間から、3.1m下の地面に墜落した。	
2	50歳代	機器点検工	2ヶ月	地盤沈下観測機器の点検業務において、被災者は観測場所を昇降する脚立から足を踏み外し、0.8m下の花壇縁石上に墜落した。	
3	50歳代	鳶工	2ヶ月	木造新築工事現場において、建方作業中、2階床部の梁を取り付ける際、梁の設置に手間取っていたところ、一部の梁が抜けたため、足元の梁が抜け落ち、被災者は2.5m下の基礎部へ墜落した。	
4	50歳代	解体工	6ヶ月	解体工事現場において、被災者は作業台に乗り、天井解体作業をしていたところ、バランスを崩して倒れ壁に顔面を強打し、そのまま約1m下に墜落した。	
5	40歳代	鳶工	1年	大規模修繕工事現場において、足場の組立作業中、被災者は墜落制止用器具を使用せずホイストを使用して上げた足場材を取ろうとした際、バランスを崩して約1.2m下の道路上へ墜落した。	
6	60歳代	内装工	3ヶ月	内装工事現場において、被災者は脚立に乗り、天井部分のクロス貼り作業を行おうとした際、足を踏み外して約1m下の床上に墜落した。	

7	40歳代	大工	3ヶ月	新築工事現場において、玄関天井の下地を作る作業中、被災者は脚立の天板に乗り、手を伸ばし、身体の向きを変えようとした際、片足が滑り約1.2m下のコンクリート床上に墜落した。	
8	60歳代	解体工	3ヶ月	解体工事現場において、内装解体撤去作業中、被災者は高さ1.5mの立馬（作業台）上で設備の撤去作業を行っていたところ、解体片が立馬に接触した際にバランスを崩し、危険を感じて飛び降りたとき踵を骨折した。	
9	50歳代	現場代理人	2ヶ月	修繕工事現場において、被災者はドライエリアに脚立を広げはしごとして設置し、はしごに上り1階網戸の取付作業中、はしごの固定が不十分であったため、バランスを崩してドライエリア上に約4m墜落した。	
10	50歳代	鉄筋工	3ヶ月	新築工事現場において、2階のデッキスラブ上に鉄筋材を下したとき、型枠支保工が倒壊し、その後、デッキスラブが崩落したため、被災者は鉄筋材とともに約3.5m下の床上に墜落した。	
11	40歳代	葺工	2ヶ月	解体工事現場において、2階屋根の骨組撤去作業中、被災者は屋根から足を踏み外して約7m下の床上に墜落した。	
12	50歳代	左官工	3ヶ月	個人宅リフォーム工事現場において、被災者ははしごで1階の屋根に上がり、2階の窓周辺の修理作業を行っていたところ、3.74m下の道路上へ墜落した。なお、被災者は墜落制止用器具や安全帽を着用していなかった。	
13	50歳代	設備工	2ヶ月	新築工事現場において、被災者は脚立に乗りエアコン設置作業中、脚の1本が床穴に落ちたため、バランスを崩して転倒し、約0.9m下の床上に墜落した。	

転倒災害事例（15%）

番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	災害発生状況のイメージ
1	30歳代	土工	3ヶ月	新築工事現場において、コンクリート打設の前段取りとして、地中梁上に安全帯用の親綱を張るため、被災者が梁上を移動中、鉄筋間に足を踏み入れてしまい、バランスを崩して転倒した。	
2	20歳代	足場工	14日	外壁塗装工事現場において、足場の組立作業中、被災者は足場部材を取りに行くため現場内を歩行していたところ、木の根につまずいて足を捻り転倒した。	
3	50歳代	鳶工	7日	新築工事現場において、足場の組立作業中、被災者は足場に立てかけてあった鋼製布板を片付けようと持ち上げ振り返ったとき、足元の差し筋につまずいて転倒した。	
4	50歳代	解体工	3ヶ月	看板撤去工事現場前の路上において、撤去後の看板を2名で移動中、後ろ向きに歩いていた被災者が道路端の段差につまずき後方へ転倒した。	
5	20歳代	型枠工	1ヶ月	新築工事現場において、被災者は喫煙所で休憩後、全体屋礼に向かう途中、場内に敷いてある敷鉄板のつなぎ目の段差につまずき、転倒した。	
6	50歳代	解体工	2ヶ月	店舗解体工事現場において、被災者は可動式の間仕切壁を押さえながら床材のベニアを解体する作業中、間仕切壁の上部ストッパーが外れ倒壊して来たため、避けようとした際、足の付け根を捻り転倒した。	
7	40歳代	アンカー工	15日	新築工事現場において、被災者は材料を取りに行く際、外周通路から作業場所へ移動するため、型枠の控えサポートを跨いだところ、足を引っかけて転倒した。	

飛来・落下災害事例（11%）

番号	年齢	職種	休業期間	災害発生状況の概要	災害発生状況のイメージ
1	40歳代	金属工	14日	新築工事現場において、長さ約4mのルーバー材をホイストで屋上から10階へ下ろす作業中、ルーバー材が落下し、10階で受取りを手伝うため準備をしていた被災者に激突した。	
2	20歳代	土工	10日	新築工事現場において、防音シートに囲まれたやぐらの中で、杭頭処理で研ったコンクリートガラをやぐらの外に運び出す作業中、研り工が投げた大きさ約30cmのガラが被災者の手の甲に激突した。	
3	20歳代	解体工	21日	解体工事現場において、倒れていたブロック塀を移動するため作業員3名で持ち上げようとした際、重さに耐えられず1名が手を離れたところ壁が落下し、被災者の手の平がブロックから出ていた鉄筋と地面との間に挟まれた。	
4	60歳代	塗装工	21日	新築工事現場において、足場の整理のため、不要となった長さ2mの布板4枚を電動ホイストで荷下ろししていた際、養生ネットに引っ掛かり、布板2枚が落下して床上で跳ね返り、通行していた被災者の手の甲などに激突した。	
5	70歳代	設備工	7日	コンテナハウス設置工事現場において、被災者はコンテナハウスの土台の高さ調整のため、鉄骨台の一部をカットする作業中、電動サンダーを落としてしまい、足に激突した。	
6	40歳代	型枠解体工	21日	新築工事現場において、外部の誘発目地を解体作業中、被災者がハンマーでコンクリートをたたいた際、コンクリート破片が跳ね、目に入った。	

※ 本事例は、令和2年に新宿労働基準監督署管内（新宿区・中野区・杉並区内）の建設現場で発生した災害のうち、事故の型ワースト3で主な事例をまとめたものです。

皆様で本災害の原因と対策を考えて、同種災害の再発防止に努めてください。